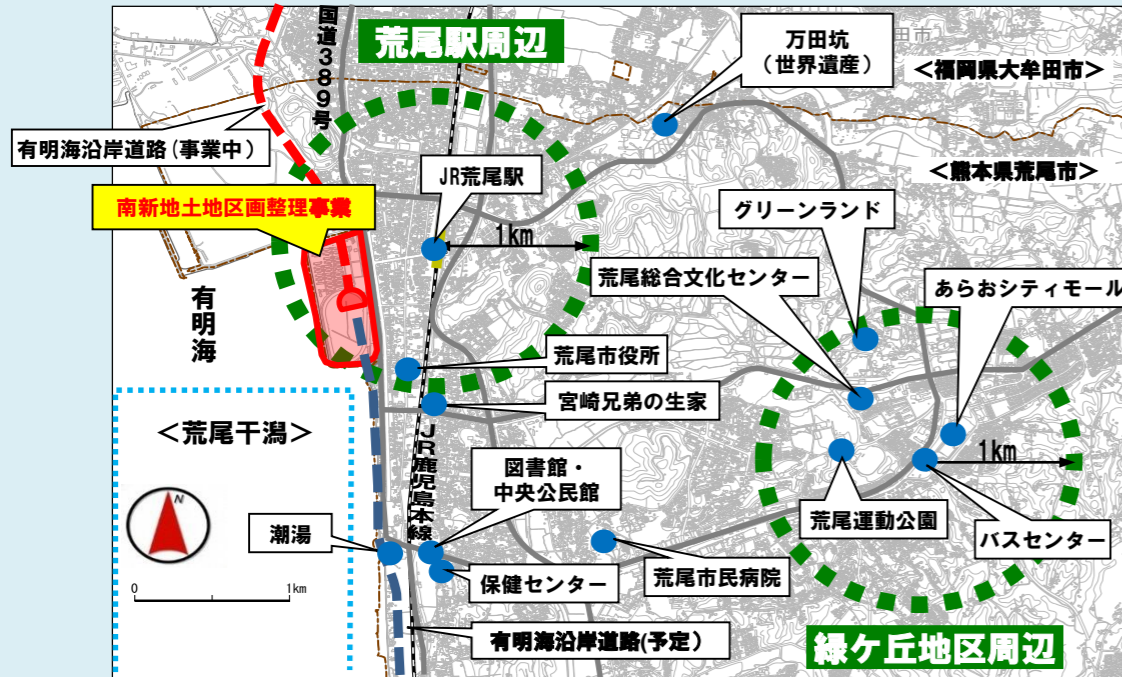


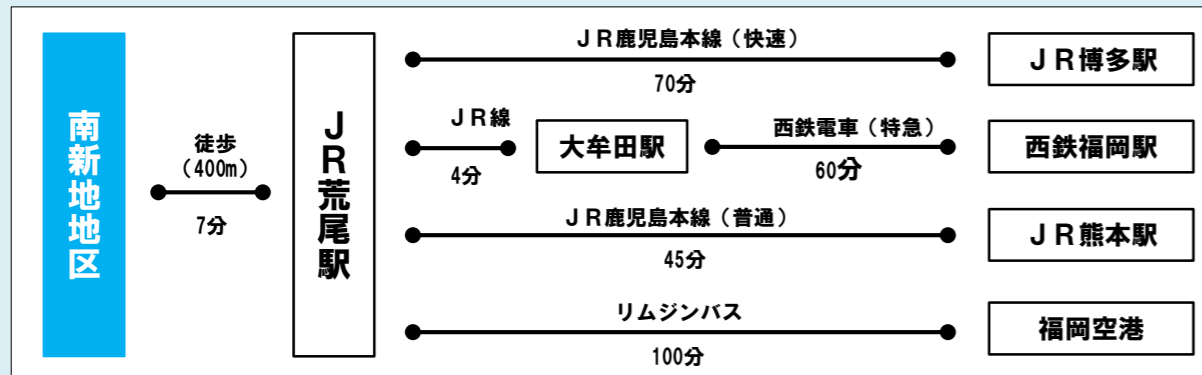
南新地土地区画整理事業



◆荒尾市域の中心拠点



◆交通アクセス



◆主な施設



<万田坑 (世界遺産)>



<宮崎兄弟の生家>



<グリーンランド>



<あらおシティモール>



<荒尾市民病院>



<JR荒尾駅>

【問合せ先】



◆荒尾市 産業建設部 都市計画課 区画整理係

864-8686 熊本県荒尾市宮内出目390番地  
TEL: 0968-63-1635 FAX: 0968-62-3112

◆UR都市機構 九州支社 荒尾都市再生事務所

864-0054 熊本県荒尾市大正町1-2-3高森ビル2F  
TEL: 0968-64-6000 FAX: 0968-64-6001



2 第  
0 3  
2 回  
0 改  
年 訂  
9 月  
作 成

# 有明海沿岸道路の延伸

有明海沿岸道路は、有明海・八代海の両沿岸地域の相互の連携を目指し、一体的に循環型ネットワークを形成する地域高規格道路です。

本道路は、熊本港や長洲港、三池港、九州佐賀国際空港などの物流拠点施設をつなぐ「物流の道」、また世界遺産登録となった万田坑などの観光圏を支える「観光の道」など、沿岸地域都市圏の一体的発展や広域的交流に大きな期待が寄せられています。更には、災害発生時の「命の道」として防災・減災の役割にも大きな期待が寄せられています。

現在、I期事業として福岡・佐賀県を結ぶ約55kmが着々と整備されています。また、II期事業として、I期事業の終着点である三池港ICから（仮称）荒尾北ICまでの2.7kmの区間のうち、本土地区画整理事業施行地区に係る有明海沿岸道路事業用地の引き渡しを2019年度から2022年度にかけて実施していきます。

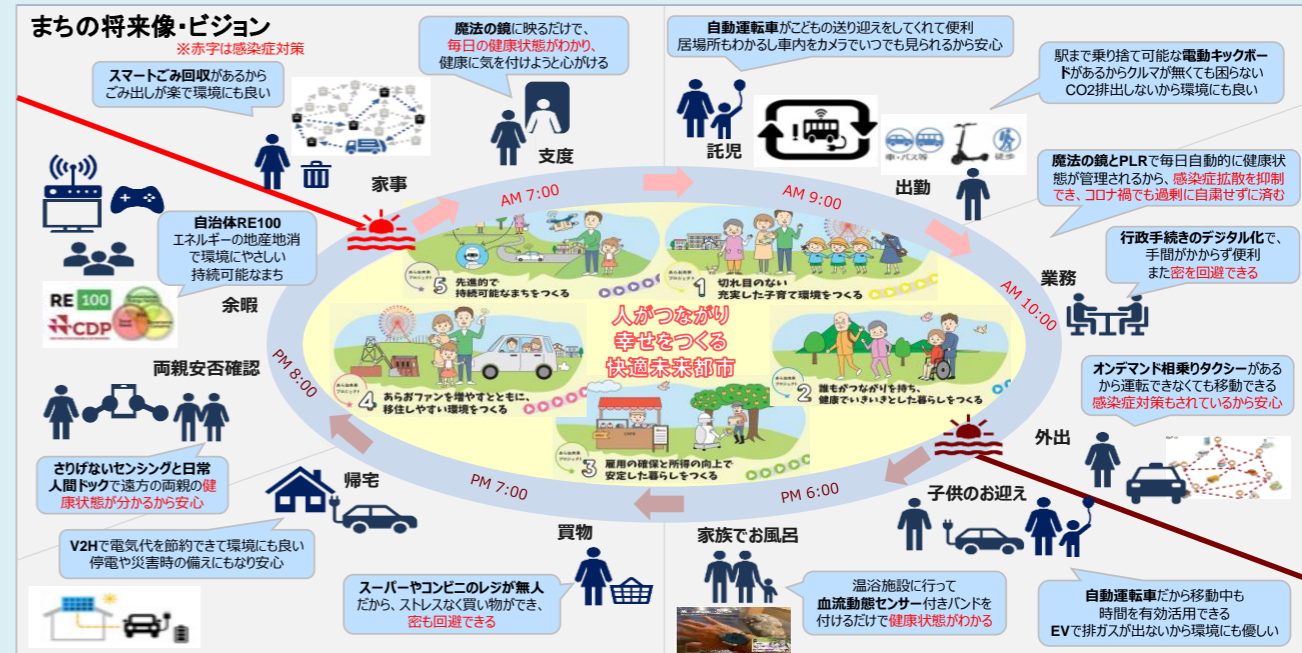


有明海沿岸道路の沿線地域と広域交通拠点  
(国土地理院の電子地形図を基に作成)

# スマートシティの取り組み

国土交通省スマートシティモデル事業  
「先行モデルプロジェクト」

先進的技術を活用した快適なまちづくりにも取り組んでいます。実証実験を行いながら2024年度のまちびらきまでに順次スマート機能をまちに実装していきます。ウェルネス拠点の健康志向のまちづくりと、多様な先進技術の連携により、最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市を実現します。



## ◆道路幅員等

● (都) 荒尾北インター線 W=21~24m



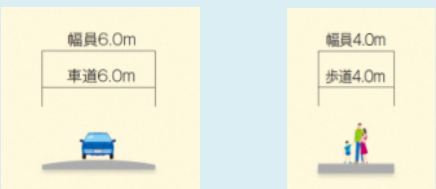
● (都) 南新地線 W=16m



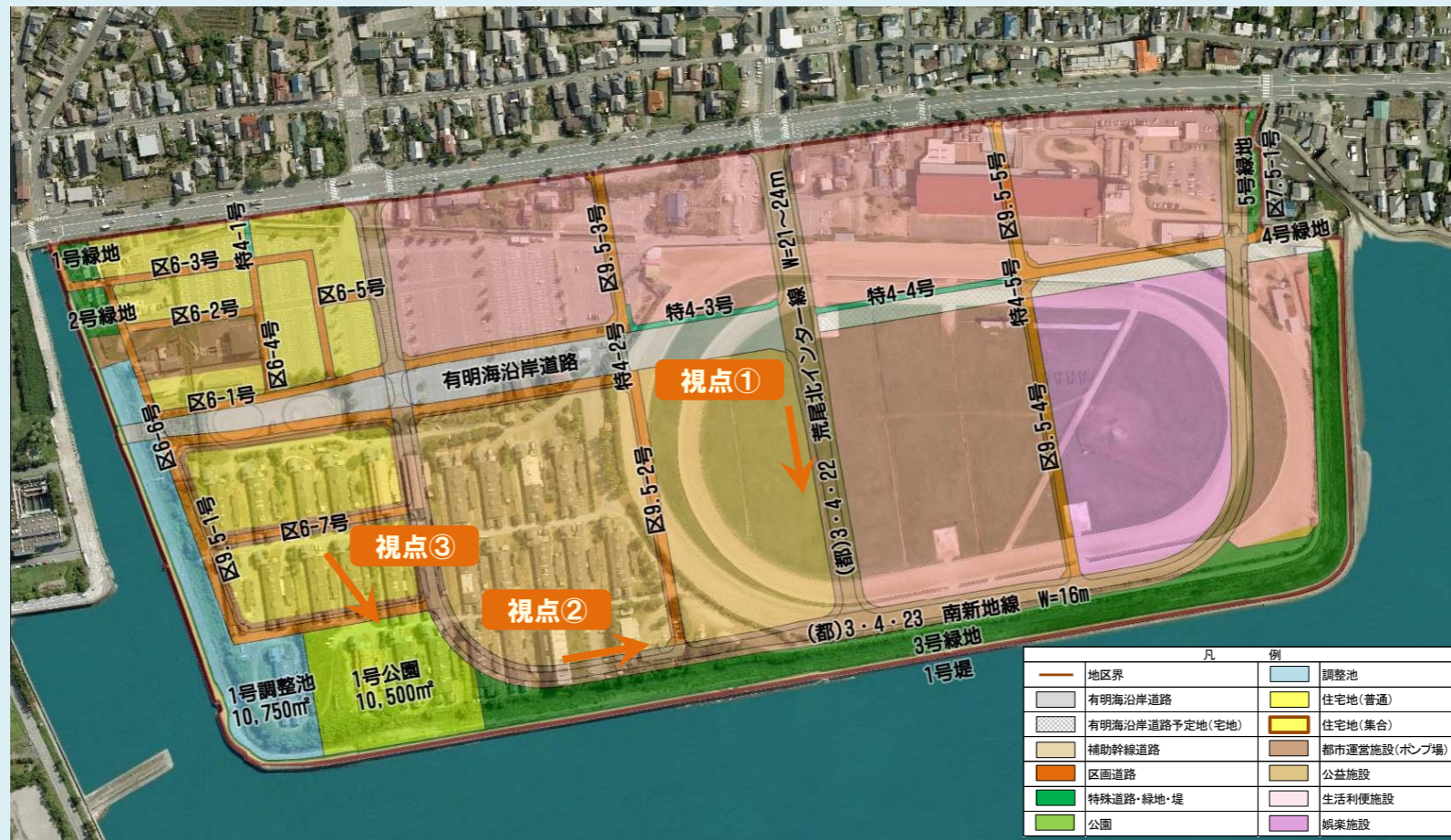
● 区画道路 W=9.5m



● 区画道路 W=6.0m ● 特殊道路 W=4.0m



## ◆設計図と土地利用計画



## ◆将来イメージ(部分)

視点①

南新地線の沿岸道路付近から西側を望む



視点②

南新地線の3号緑地沿いから南側を望む



視点③

8-2街区から南側を望む

